



主催：京都大学大学院地球環境学堂

第34回 京都大学地球環境フォーラム

住民参加の 土砂災害対策 歴史から現代へ



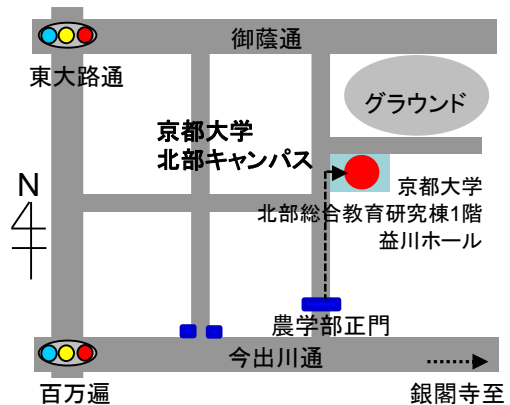
滋賀県大津市旧志賀町のシシ垣

近年、水害や土砂災害などが頻発しています。かつて人々は自らの地域を守るため、地域の風土や地域特性を生かし対策をしてきました。本フォーラムでは、歴史から現代へと地域住民が主体的に行う災害対策について知り、今後どのように備えていくべきなのかを滋賀県湖西地域のフィールドを事例にして議論します。

プログラム ◆ 13:00 受付開始 ◆ 16:30 終了予定

- ◆ 「百間堤の江戸時代－災害と防災をめぐる地域住民の生活史」
高橋 大樹（大津市歴史博物館）
- ◆ 「伝統的な水害・土砂災害対策としてのシシ垣・堤のいま」
落合 知帆（京都大学地球環境学堂）
- ◆ 「土砂災害危険地域における住民主導の地区防災計画」
三好 岩生（京都府立大学生命環境学部）
- ◆ 総合討論 コーディネーター：西川完途（京都大学地球環境学堂）

（注：講演者、講演内容などは事前の予告なく変更することがございます）



2019年5月25日（土）13:30～
京都大学 北部総合教育研究棟1階 益川ホール
 参加無料, 先着170名まで(残席がある場合、当日参加可)

申込フォーム QRコード



参加希望者は、事前にWeb(左上にQRコードあり)から申し込み頂くか、ファックス(件名「第34回環境フォーラム」、氏名、所属をお送り下さい。
 <京都大学地球環境フォーラム事務局：地球環境学堂> Web申し込みURL: <https://www2.ges.kyoto.ac.jp/form/geforum34/>
 Tel: 075-753-5630 Fax: 075-753-9187